

研究報告書

【研究タイトル】

加齢性難聴の社会的理解の促進と、支援のためのヘルプマークの活用法研究

【研究者】

長野医療衛生専門学校 言語聴覚士学科教務 富井浩子

3年豊森朱理、2年吉池ほのか、1年石井柚奈、高山來未、寺澤亜希、平林由羅

【背景】年齢とともに聴力が低下するいわゆる加齢性難聴は、日常的な会話を困難にする。コミュニケーションの機会が減ることによる脳機能の低下は認知症発症のリスクを高め、さらに社会的に孤立することが指摘されている。

【目的】加齢性難聴がもたらす種々の問題を理解し、支援の方法をさぐる。

【方法】①加齢による聞こえの衰え（加齢性難聴）に対する、社会の理解（当事者・周囲）について調査する。②加齢性難聴による生活上の困難な場面と、当事者の希望、周囲の困り感について調査する。③社会全体の配慮と工夫を、ヘルプマーク・耳マークの活用から検討し実施する。

【報告】

〈調査結果〉


調査名 加齢性難聴の理解と支援に関する研究
調査方法 インターネットによるアンケート調査
調査期間 2023年11月21日～2023年12月4日
対象者 年齢不問/長野県内
回収数 521サンプル(調査の依頼先はランダムに抽出した公共施設(4箇所)、一般企業(15社)、県内学校関係(92校)である)。

〈作成した支援ツール〉

名刺カード	対象者が携帯して使用できる
〃 シール仕様	対象者がヘルプマークに貼り使用できる
留置型カード	窓口などに留置し、必要な方が使用できる
説明リーフレット A・B	留置型カードの使い方説明
ポスター A・B	啓発用

支援ツールはアンケートを依頼した先にサンプルとして送付した。今後要望があれば、追加送付する予定。

名前




耳の聞こえが悪いです

- ゆっくり・はっきり話して下さい
- 話す時は口元を見せて下さい
- 筆談をお願いします
- 直接呼びに来て下さい
-

※お話しが
聞き取れない場合はもう一度、あるいは、ゆっくりと話して下さい。また、話の内容が不明な場合は、遠慮なく聞き取らせてください。お話しが聞き取れない場合は、遠慮なく聞き取らせてください。

比叡外務専門学校 言語聴覚士学科



耳の聞こえが悪いです

- ※希望する配慮を相手に伝えてください。
- ゆっくり・はっきり話して下さい
- 話す時は口元を見せて下さい
- 筆談をお願いします
- 直接呼びに来て下さい

よろしくお願ひします。

比叡外務専門学校 言語聴覚士学科

名刺カード
ヘルプマーク用シール

留置型カード
A5 サイズ

カードを忘れず、適切な対応をお願いします。

聴覚障害のある方（聴覚障害者）は、聴覚障害者として、聴覚障害者であることを周囲の人に知らせる必要があります。聴覚障害者であることを知らせることで、周囲の人に適切な対応をしてもらうことができます。

聴覚障害者としての対応

- 聴覚障害者であることを周囲の人に知らせる。
- 聴覚障害者であることを周囲の人に知らせることで、周囲の人に適切な対応をしてもらうことができます。

※お話しが聞き取れない場合はもう一度、あるいは、ゆっくりと話して下さい。また、話の内容が不明な場合は、遠慮なく聞き取らせてください。お話しが聞き取れない場合は、遠慮なく聞き取らせてください。

比叡外務専門学校 言語聴覚士学科

耳が聞こえにくい方や
配慮が必要な方は
お気軽にお申し出ください

必要に応じて対応させていただきます

配慮を希望する方は
カードを出してください



比叡外務専門学校 言語聴覚士学科

説明リーフレット A ・ B
A4 サイズ

加齢性難聴にご理解をお願いします



「ゆっくり話して下さい」とお願いしています。

ゆっくり
はっきり
口元を見せて

比叡外務専門学校 言語聴覚士学科

「ゆっくり話して下さい」とお願いしています。

ゆっくり話して下さい

はっきり話して下さい

口元を見せて話して下さい

比叡外務専門学校 言語聴覚士学科

啓発用ポスター A ・ B
A2 サイズ